

＜平成 30 年度 医療管理講演会のご案内＞

『健口から始める安全・健康で元気な地域づくり』

～高齢者の心身特性と口腔機能・感染対策・緊急時対応
・食べるを知り、歯科疾患の重症化予防につなげよう～

間もなく迎える超高齢化社会に向け、地域包括ケアシステムの構築が進んできた現在、訪問診療を行う先生方も増えてきています。訪問診療を行っている現場では診療所内と違ってどのような危険が有るのか、その注意点を実際の症例を通じて講演して頂きます。

尚、本講演会は「か強診」「歯援診」「外来環」の施設基準対応の講演会となっております。

講師： 石井 良昌先生（海老名総合病院 歯科口腔外科 部長）

日時： 平成30年 11月 15日(木) 14:00 ～ 17:00

対象者： 歯科医師、歯科衛生士、歯科助手、その他

場所： 川崎市歯科医師会館 3階大会議室

〒210-0006 川崎市川崎区砂子 2-10-10（JR川崎駅より徒歩 8分）

参加費： 無料

定員： 先着 120 名（定員になり次第締め切りさせていただきます）

申込方法： 参加希望者は裏面申込書に必要事項をご記入の上、平成 30 年 10 月 31 日（水）までに FAX にてお申込みください。

問合せ先： 川崎市歯科医師会事務局（中村）

TEL:044-222-3924

石井 良昌先生（海老名総合病院 歯科口腔外科 部長）抄録より一部抜粋

近年 口の健康が健康寿命延伸に寄与すると言われていています。2025 年の超高齢化社会を迎えるにあたり、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築が重要な課題です。そしてその地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要ともされ、地域のまとまり、地域力の向上はとても重要です。全国に多くある歯科医院は地域に密着した医療を提供してきていましたが、これから地域包括ケアのなかでその役割や立場も変化し、人生の最期まで寄り添う歯科医療を多職種と連携しながら提供することを求められています。すなわち診療の場所を歯科医院から道具も設備も十分でない在宅にフィールドに移すことになり、より質の高い医療安全管理スキルを身につける必要があります。実際の症例を通じて医療安全について考えてみたいと思います。

主催 公益社団法人 川崎市歯科医師会

共催 一般社団法人 神奈川県歯科医師会